

# あいち農産物生産流通レポート

平成 22 年 5 月号

情報サロン		
・首都圏アンテナショップ事情	(東京事務所).....	1
地域トピックス		
・NPO法人豊田・加茂菜の花プロジェクトの「菜の花楽習会」 開催	(豊田加茂農林水産事務所).....	2
東日本情報		
・野菜の相場に春のあらし	(東京事務所).....	3
西日本情報		
・いちご「ゆめのか」のブランド化を目指して活動しました	(園芸農産課).....	5
フラワーページ		
・丸ビルで丸の内フラワーウィークス 2010	(東京事務所).....	7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場) .....		8
・名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し .....		9
花 き		
・切花・鉢花の5月の見通し(県内市場) .....		21
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2010年2月) .....		25
関連指数	.....	26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

## 首都圏アンテナショップ事情

地域特産品の販売を促進するため、首都圏には、地方自治体や団体を運営主体として多くの「アンテナショップ」が開設されています。愛知県東京事務所大田詰所で調査したところでは、東京都内には常設の「アンテナショップ」が43か所あり、その多くは23区内でも特に人々が多く集まる繁華街として有名な場所にあります。北は北海道から南は沖縄まで日本全国を旅行しなくても、目で見、手にとって特産品（一部青果物もある）が都内で手に入ります。

中には、「アンテナショップ」内に特産品を材料としたレストランを開き、その場で味わうことのできる場所もあります。

さらには、常設の店舗を複数設けている県もあり地元を売り込むための各県の意気込みのようにも感じます。昨年、在京の某テレビ局も「銀座めざましマルシェ」と名をつけて、「アンテナショップ」の都内激戦地ともいべき銀座において、地上13階、地下1階のビルで日本全国47都道府県の物産品を販売しています。

現在、「アンテナショップ」を常設していない府県は千葉県、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県、岡山県、福岡県、佐賀県の15府県あります。その中で、埼玉県と長野県は、コンビニエンスストアの中に一部のコーナーを設けて、特産品の販売やPR、観光情報の発信を行うスタイルの「アンテナショップ」を最近開設しました。これは、コンビニエンスストアなど立地条件がよく、利用客の多い店舗に着目し、設置のコストも常設の店を構えることに比べ、非常に低く抑えることができます。

その効果はまだ始まったばかりのため、しばらく様子を見ないと断言できませんが、こうしたスタイルの「アンテナショップ」は、複数の場所に設置でき、PRという点では、大きな期待ができます。

愛知県も「アンテナショップ」はありませんが、自己PRが大切な時代に一考が必要かもしれません。



昨年開店した「やまがたプラザゆとり都」



古株の「かごしま遊楽館」

## NPO 法人豊田・加茂菜の花プロジェクトの「菜の花楽習会」開催

平成22年4月17日(土)午後2時から松坂屋豊田店のとよた市民活動センター研修室で、NPO 法人豊田・加茂菜の花プロジェクト(以下、「菜の花プロジェクト」という。)主催の「菜の花楽習会」が豊田市長、地元県議の出席のもと開催されました。

菜の花プロジェクトは、毎年「菜の花楽習会」を開催していますが、今回は講演会を企画し、講師に名古屋大学の竹谷裕之(たけやひろゆき)名誉教授を迎え、「食糧問題と地域農業、そして地産地消」の演題で講演が行われました。

講演内容は、食糧確保のための世界の動き、日本の農業政策、地域農業のあり方、地産地消と多岐にわたりましたが、図表や写真を使っただけのわかりやすい説明だったので、参加者も食糧生産を担う農業の大切さを再確認するきっかけとなりました。

また、講演終了後の質疑応答では、「菜の花プロジェクト」の取り組みについて、一般市民に広く知ってもらう方法について質問があり、竹谷教授は、口コミ情報が最も有効であるとしながらも、継続的にイベント等を企画し、新聞やテレビ等のメディアでのPRを行い、まずは多くの人に知ってもらう機会をつくるのが大切であると述べられました。

「菜の花プロジェクト」にとって、活動内容を多くの人に知ってもらうことが大きな課題であるので、大変有意義な楽習会になりました。

「菜の花プロジェクト」は、愛知県が推進する「菜の花エコプロジェクト」の取り組みに賛同した、豊田加茂農林水産事務所管内の団体です。

「菜の花エコプロジェクト」とは、菜の花を栽培し、なたねから油をしぼり、油かすは肥料や飼料にする一方で、食用に利用したなたね油を回収し、軽油代替燃料などに再生利用するもので、資源循環型社会の形成を目指す取り組みの一つです。



(講演の様子)

## 野菜の相場に春のあらし

4月17日の土曜日、関東では41年振りに4月の降雪となりました。  
この天候が象徴するように、今年の異常気象は3月から始まりました。

気象庁がまとめ、発表した3月、4月の日照不足と気温変動の経過によりまずと、「北日本や東日本の日本海側で3月の日照時間が統計を始めて以来、最小値を更新し、気温も乱高下しました。

3月の日照時間は北日本の日本海側で平年の65%、東日本の日本海側で61%になり、共に1946年に記録した最小値を書き換えた。寒暖も激しく、期間中の東京は最低気温が3月9日、3月30日に1℃、最高気温が4月21日に25.5℃となった。」というように冬と夏が日替わりで訪れるような状況でした。

この気象変動は、関東の農作物の生育に大きな影響を与え、出荷量は大きな打撃となりました。

東京都中央卸売市場における主な野菜の4月上旬から中旬にかけて品目別の価格及び入荷量を表1と表2に示しました。

4月上旬の野菜品目別動向（表1）ですが、価格の前年比では、にんじん、はくさい以外の12品目が100%を超え、入荷量では半数以上の品目で前年比100%を割っています。平成17年から21年までの過去5か年平均（以下「過去5か年比」という）と比較しますと価格の上昇はより顕著となっており、ほうれんそう(150%)、レタス(154%)、なす(152%)、ピーマン(265%)が5割を超える高値となっています。

4月上旬から中旬の野菜品目別の動向(東京都中央卸売市場)  
表 1

品目	4月上旬					
	価格 (円/kg)	前年比 (%)	過去5か年比 (%)	入荷量 (t)	前年比 (%)	過去5か年比 (%)
だいこん	112	102	118	3,677	107	106
にんじん	129	95	82	2,731	110	114
はくさい	120	83	129	1,893	100	95
キャベツ類	149	103	126	5,415	96	102
ほうれんそう	672	122	150	446	107	98
ねぎ	336	186	145	1,423	95	102
レタス類	296	113	154	2,291	98	97
きゅうり	324	115	128	2,055	87	91
なす	490	133	152	665	81	53
トマト	484	112	118	1,764	98	88
ミニトマト	684	104	115	354	109	88
ピーマン	669	123	265	560	86	48
ばれんしょ類	171	128	144	2,925	100	93
たまねぎ	138	141	125	3,844	93	121

表 2

品目	4月中旬					
	価格 (円/kg)	前年比 (%)	過去5か年比 (%)	入荷量 (t)	前年比 (%)	過去5か年比 (%)
だいこん	132	125	131	3,300	100	91
にんじん	171	120	96	2,209	81	87
はくさい	107	121	148	1,976	106	99
キャベツ類	192	164	182	4,722	74	80
ほうれんそう	491	137	124	436	80	86
ねぎ	373	230	149	1,214	85	87
レタス類	292	166	164	2,063	75	80
きゅうり	334	155	132	2,167	74	90
なす	444	130	137	676	68	50
トマト	488	111	119	1,823	82	82
ミニトマト	724	101	122	340	103	66
ピーマン	616	116	244	616	85	89
ばれんしょ類	200	136	168	2,828	92	90
たまねぎ	133	151	120	4,273	80	94

さらに、4月中旬の野菜品目別動向(表2)を見ますと、その変化は顕著になり、価格は、前年比では全ての品目で100%を超え、過去5か年比では、にんじんを除く11品目が100%を超え、特にキャベツ類(182%)、レタス類(164%)、ピーマン(244%)、ばれいしょ類(168%)が5割を超える高値となっています。また入荷量においては、前年比では、だいこん、はくさい、ミニトマト以外の9品目において100%を割っており、過去5か年比では、全ての品目において100%を割り、特にキャベツ類(80%)、レタス類(80%)、なす(50%)、ミニトマト(66%)は2割以上減少しています。

このように入荷量の顕著な減少が供給不足となり、市場価格の高騰につながりました。都内のスーパーではあらゆる野菜が軒並み価格を上げており、安かった前年11月の2倍以上の小売価格となっています。例えば、本県特産でもあるキャベツなどは、都内のスーパーで1玉500円前後で売られ、販売形態も1/2カットのほか1/4カットも増えました。

農林水産省では青果物価格高騰対策として主要産地に対し、出荷前倒しを要請し、これを受けた大手量販スーパーでは、価格を2~3割下げた規格外野菜の販売を始めました。こうした動きもあり、4月下旬に入り高騰した相場はやや落ちついてきた感があります。

しかし、今回の野菜価格高騰は記録的な気候変動による需給バランスの不均衡によりもたらされたものであり、依然として景気後退による国内消費の冷え込みは続いています。この価格高騰は、野菜の消費に大きなブレーキとなっており、消費者の行動は買い控えと冷凍・加工野菜など安価な代替食品へと流れる状況となっています。



キャベツの価格高騰が注目される中、豊橋市のキャベツ販促に赤松大臣が視察(有楽町:4月27日)

気象庁の発表によりますと気象変動は5月上旬まで続くようです。遅れていた野菜類の生育は気温の上昇とともに徐々に回復しつつあり、5月中旬に入荷量が増加し、この時期が高値反動で一転して価格下落となるターニングポイントとなる可能性が高いと思われます。

このため、5月中旬以降の入荷増を見据えた商談など販売対策の強化が今後は重要となります。「山高ければ谷深し」といいますが、青果流通を取り巻く本当のあらしはこれからとなりそうです。

## いちご「ゆめのか」のブランド化を目指して活動しました



いちご「ゆめのか」

愛知県は産出額全国第3位（平成20年産）を誇る全国有数のいちご産地です。

愛知県では、一層の産地振興を図るため、これまで新品種の開発に取り組んできましたが、中でも平成16年度に開発し、「みんなのゆめのかなう”おいしいいちご」という願いを込めて名付けられた「ゆめのか」は、甘みと酸味のバランスが良く、ジューシーな美味しさが好評を得ています。

また、果皮がほどよく硬く、傷みにくいことから、菓子等の加工食品への利用も期待されています。

ゆめのかの普及促進に向けた取組をしている、いちご「ゆめのか」普及促進会議では、愛知県いちご生産組合連合会と協力して、いちごが美味しくなる季節に、ゆめのかの魅力をいちご利用業者や消費者へアピールする活動を行いましたので、紹介します。

### いちご「ゆめのか」普及促進会議

構成：愛知県  
愛知県経済農業協同組合連合会  
財団法人愛知県農業振興基金  
社団法人愛知県園芸振興基金協会

### 洋菓子講習会「ゆめのかなう いちごのケーキ」

バレンタインデー、桃の節句、ホワイトデーとお菓子に関するイベントが続く時期を控えた平成22年1月20日（水）県内のパティシエを対象に、ゆめのかを使ったケーキづくりの実演と試食を内容とした洋菓子講習会を愛知県菓業会館（名古屋市西区）で開催しました。

これは、社団法人愛知県洋菓子協会と愛知県いちご生産組合連合会とが協力して初めて行ったもので、協会の会員約100名の参加者がありました。



講習会風景

講習会では、名古屋コーチンや米粉を利用したケーキも販売している、名古屋市東区「プチ フレーズ」のオーナーシェフ田辺悦郎氏を講師に迎え、シェフが製作実演を行った後、ロールケーキ、ショートケーキ、クロワッサン、トリュフ、スープの5品の

試食を行いました。

また、県農業総合試験場職員によるゆめのかの来歴の説明や愛知県いちご生産組合連合会による生産状況の説明も行い、参加者は熱心にメモを取っていました。

参加者へのアンケートでは、回答者（60名）の9割以上の方がゆめのかを今後利用したいと回答されており、今後の広がりが期待できます。

当日は多数の報道機関の取材があり、夕方には、3社のテレビ放送で講習会や産地の様子が紹介されました。



好評だった ゆめのかケーキ

#### あいちのいちごフェア

受験シーズンを前に、受験生のゆめのかなうよう応援するため、ゆめのかのパックと、ビタミンCたっぷりの本県産いちご4品種（ゆめのか、とちおとめ、章姫、紅ほっぺ）を1箱に詰めた食べ比べセットを販売するイベント「あいちのいちごフェア」を、平成22年2月4日（木）に金山総合駅連絡通路橋内イベント広場（名古屋市中区）で開催しました。

当日は、1月の洋菓子講習会のテレビ放送でゆめのかを覚えて購入される方もいて、用意したゆめのか100パックは昼までに売り切れました。また、一度に4品種が食べられる食べ比べセットも好評で、用意した400箱を完売しました。



あいちのいちごフェア風景（金山総合駅にて）

今後も、イベント等を通して、消費者に幅広くゆめのかのおいしさを知っていただき、ブランド化に取り組んでいきます。

丸ビルで丸の内フラワーウィークス2010 - 花に恋する丸の内 -

無機質なビルの中に生命ある花が存在することで、都市に住む人は自然を身近に感じ豊かさを実感できます。花と庭のある豊かな暮らしを提案するイベントとして、ビジネス街である丸の内エリアを舞台に、丸の内フラワーウィークス2010が平成22年4月20日(火)～25日(日)の5日間、開催されました。

メイン会場の丸ビル1階マルキューブには卸売会社、フラワーショップ、産地によるそれぞれ特色を生かした「フラワーディスプレイ」、また各産地の自慢の花を集めた「市場の花大集合」コーナーなどが集まり、色とりどりの花々で満ちあふれていました。

本県からは、愛知県花き連・JAひまわり・日比谷花壇の合同による「フラワーディスプレイ」の参加があり、スプレーマム、バラ、ガーベラ、輪ギク、ユリ等の花々が立体的に装飾されました(右写真)。なお、20日のオープニングセレモニーには、高円宮妃殿下が御来場され、熱心に御視察されました(下写真)。会場には期間中、午後2時から5時頃にかけて見学者が最も多く訪れ、夕方以降は帰宅ついでのビジネスマンの姿も



愛知のフラワーディスプレイ



高円宮妃殿下にご説明する  
ひまわり農協の柴田組合長

愛知のフラワーディスプレイ  
多くみられました。見学者の多くはデジタルカメラ、携帯電話を手にもち、気に入った花を撮影する光景が多く、花に対する関心の高さが窺ええました。

一方、同イベントのシンボルである「藤棚のお花見ガーデン」が丸ビル1階玄関横に展示されましたが、低温、日照不足の影響を受けて開花が大幅に遅れたため、残念ながら満開の藤を見ることはできませんでした。

メイン会場以外でも、セリ人による花の模擬セリ販売、プリザーブドフラワーコンテスト(行幸地下ギャラリー)、高校生フラワーデザインコンテスト(丸ビル3階回廊)、ハンギングバスケットコンテスト(丸の内仲通り)など多くのイベントが実施され盛況でした。

さて、今回で3回目となる同イベントは春の風物詩となりつつあり、都会のオアシスとして、着実に定着しつつあります。このイベントを通じて都市生活者が花の魅力を感じ生活の一部に取り入れることで、花の消費拡大に少しでもつながることが期待されます。



# 愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

## 名古屋市中央卸売市場（品目：みつば）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	59	58 (98%)	301	297	静岡 (2%)
22年見通し	60	-	300	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>水耕で周年栽培されるが、春と秋は特に品質が良く、安定的な入荷が見込まれる。春先の天候不良から生育は遅れぎみ。作付面積は年々減少しており、重油高で冬場の加温を控える傾向から、入荷量は年々減少している。価格は入荷量の増減による変動をあまり受けない。入荷量、価格とも前年並みの見込み。</p>			<p>景気の影響から外食等業務需要が減少しており、一般消費者の青物消費は生食が中心になっている。早期に収穫した若取りみつばの普及など、おひたし、吸い物以外の若年層の嗜好に合わせた消費を増やす取り組みが必要。春先の気温上昇に伴う品質劣化を防ぐため適時出荷と品質管理をお願いしたい。</p>		

## 東京都中央卸売市場（品目：ペコロス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
21年実績	14	9 (69%)	585	656	米国 (11%) オーストラリア (9%) ニュージーランド (7%)
22年見通し	14	-	608	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>4月からは本県産の入荷が始まる。ここ数年の傾向としては、作付け面積の減少、生産者の高齢化などから入荷量が減少している。全体の入荷量はわずかに前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>			<p>ペコロスは業務向けを中心に安定した需要はあるが、玉揃いは良いが、M,S級の需要が多く、特にS級の需要が増えている。国内産地は数少ないため、国内産地の入荷量が減ると外国産のものが入ってくる。安定出荷をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し

名古屋市中央卸売市場

4月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	17年	40,701	179	185	174	177	愛知 29%
	18年	41,890	199	207	185	207	茨城 8%
	19年	40,504	191	204	192	180	北海道 8%
	20年	40,658	191	183	200	191	長崎 7%
	21年	39,226	195	209	196	185	
	計	5ヵ年平均	40,596	191	-	-	-
	22年見通し	38,200	202	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>地元愛知と、葉もので茨城、土もので北海道から入荷する。春先の天候不順から生育は遅れ気味で、産地の切り替わりも遅れて端境期となっているが、月の後半は入荷も安定する見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
だいこん	17年	2,693	74	73	65	86	愛知 85%
	18年	2,802	91	94	69	117	茨城 4%
	19年	2,290	82	80	80	86	千葉 4%
	20年	2,411	88	85	100	82	長崎 3%
	21年	2,388	85	84	84	88	
	計	5ヵ年平均	2,517	84	83	79	93
	22年見通し	2,300	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>産地は愛知を中心に、他に茨城、千葉。春先の低温と降雨で生育は悪く、小玉傾向。今月は出荷のピークを迎えるが、各産地とも作付面積は減少傾向で、少なめの入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
にんじん	17年	2,871	113	121	113	108	徳島 74%
	18年	2,556	172	174	167	175	岐阜 19%
	19年	2,736	128	155	132	105	熊本 5%
	20年	2,252	202	200	233	181	愛知 2%
	21年	2,950	112	142	120	88	
	計	5ヵ年平均	2,673	142	156	149	128
	22年見通し	2,600	150	170	150	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>前月に引き続き産地は徳島中心で、下旬には岐阜からの入荷も始まる。低温と日照不足から不作で、小玉傾向であることから単価的には苦しいとみる。岐阜の生育は遅れ気味。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

4月20日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	17年	141,252	196	203	198	189	千葉 19%
	18年	143,667	217	226	201	225	茨城 16%
	19年	143,223	207	228	195	197	佐賀 6%
	20年	141,595	218	217	227	211	埼玉 5%
	21年	137,120	222	233	218	216	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均	141,371	212	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	133,000	230	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>入荷の中心は関東産地となり、土物類果菜類は西南暖地からの入荷が本格化する。4月の天候不順、1日の気温差の影響が生育に残り上旬は、入荷量がやや少なめ中旬以降は順調に推移していくものと思われる。</p>							
だいこん	17年	9,808	75	81	68	77	千葉 77%
	18年	9,824	91	100	74	100	茨城 9%
	19年	9,302	85	84	79	90	青森 4%
	20年	9,589	85	87	97	73	埼玉 2%
	21年	8,952	89	87	89	91	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	9,495	85	88	81	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	9,000	90	92	87	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉からの入荷が中心となる。生育は天候不順、日照不足の影響でやや遅れが見られるが、病気の発生はない。今後、好天が続けば生育が回復し増加する見込み。全体の入荷量は平年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>							
にんじん	17年	8,263	126	132	128	119	徳島 62%
	18年	7,825	182	178	177	191	千葉 23%
	19年	7,828	143	156	146	131	埼玉 5%
	20年	7,486	217	203	247	200	ニュージ-ラント 3%
	21年	8,427	131	151	135	108	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	7,966	159	163	165	148	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	8,150	133	138	135	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>徳島と千葉からの入荷が中心となる。全国的な天候不順や日照不足の影響でやや生育が遅れがみ。徳島、千葉とも中旬以降生育が回復する。入荷量は前年をやや下回り、価格は平年を下回った前年並みと思われる。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)		
ほうきさい	17年	2,297	67	66	69	茨城	68%	
	18年	2,726	106	103	108	長野	17%	
	19年	2,364	78	68	77	愛知	14%	
	20年	2,456	76	84	73	0	0%	
	21年	2,141	93	115	81			
	5カ年平均	2,397	85	89	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	22年見通し	2,200	90	90	80			
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/Kg
		産地は前月に引き続き茨城中心で、他に長野、愛知。3月から4月にかけて寒暖の差が大きかったことから生育が遅れており、今月に入荷が集中する見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。						
キャベツ	17年	3,648	96	101	86	愛知	65%	
	18年	4,088	102	105	111	茨城	21%	
	19年	3,735	103	114	89	兵庫	6%	
	20年	4,013	74	82	60			
	21年	3,951	132	170	112			
	5カ年平均	3,887	101	114	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	22年見通し	4,000	100	120	80			
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/Kg
		産地は愛知中心だが移行期で、茨城、兵庫が出てくる。前月は気温低下、降雨により入荷が激減し価格も高騰したが、春系に完全に切り替われば数量も安定し、単価も安定する見込み。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。						
ほうれんそう	17年	274	451	336	544	479	岐阜	72%
	18年	308	468	478	421	509	愛知	8%
	19年	307	529	510	562	524	長野	6%
	20年	309	497	520	528	463	0	0%
	21年	282	511	554	485	510		
	5カ年平均	296	492	482	508	497	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	22年見通し	300	500	500	500	500		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量			単価 円/Kg
		産地は愛知が終盤を迎え中旬には終了、岐阜に切り替わる。3月から4月にかけての日照不足で、圃場の整備ができなかったことから出荷は遅れる見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	17年	6,646	43	45	42	43	茨城 94%
	18年	6,502	83	93	81	76	長野 4%
	19年	5,826	52	65	42	51	群馬 2%
	20年	6,096	54	49	63	52	
	21年	5,749	69	89	64	57	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	6,164	60	68	58	56	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		5,700	75	78	74	72	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		茨城からの入荷が中心となり、長野からの入荷も始まってくる。茨城の生育は天候不順、日照不足から7日から10日程度の遅れとなっている。現在のところ品質に問題は見られない。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。					
		<p>ほうきの数量と単価の推移。数量は6月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。単価は6月～12月にかけて上昇傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。</p>					
キヤベツ	17年	16,086	91	88	100	87	千葉 46%
	18年	18,392	85	88	70	98	神奈川 28%
	19年	16,139	90	98	90	82	愛知 10%
	20年	16,800	72	75	84	59	茨城 10%
	21年	16,743	115	142	108	97	(愛知産比率 10%)
	5ヵ年平均	16,832	90	98	90	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		16,400	95	100	95	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		千葉、神奈川を中心とした関東産地からの入荷が中心となる。千葉、神奈川とも天候不順、日照不足から生育は概ね7日から10日の遅れとなっている。5月上旬から出荷が増え始める。入荷量は前年をわずかに下回るが、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。					
		<p>キヤベツの数量と単価の推移。数量は6月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。単価は6月～12月にかけて上昇傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。</p>					
ほうれんそう	17年	1,524	391	354	426	393	群馬 36%
	18年	1,845	358	401	302	387	茨城 20%
	19年	1,548	398	393	412	391	岩手 15%
	20年	1,727	393	417	438	340	埼玉 14%
	21年	1,536	427	472	391	430	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,636	392	407	391	387	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
22年見通し		1,500	400	410	400	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		群馬、茨城、埼玉の関東産地に加えて岩手からの入荷が始まる。関東以北の生育は天候不順、日照不足からやや遅れ気味、低温の影響で一部病害が見られる。5月上旬以降は各山地とも生育が回復し、全体の入荷量は前年並み、価格はわずかに下回る見込み。					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移。数量は6月～12月にかけて増加傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。単価は6月～12月にかけて上昇傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	17年	889	321	329	314	320	愛知 36%	
	18年	860	354	353	365	340	鳥取 12%	
	19年	917	347	344	337	359	大分 9%	
	20年	876	416	414	422	412	茨城 7%	
	21年	907	379	392	357	390		
	5カ年平均	890	363	366	359	364	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	22年見通し	880	380	400	380	350		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/Kg
		産地は、愛知の長ねぎと、鳥取、大分、茨城の白ねぎ。秋冬ものから新ねぎに移行する時期。愛知の作付は減少しており、作柄はやや不作。九州産地も同じ傾向。中国産の輸入量が増加している。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みとなる見込み。						
レタ	17年	1,890	123	138	116	113	長野 54%	
	18年	2,363	158	201	124	161	兵庫 33%	
	19年	1,995	228	303	199	183	茨城 10%	
	20年	2,134	110	107	111	112	愛知 2%	
	21年	1,903	160	181	177	124		
	5カ年平均	2,057	155	186	144	139	に、 入荷量・価格の動き	
	22年見通し	1,900	167	200	170	140		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/Kg
		産地は長野、兵庫中心で、茨城は中旬、兵庫も中下旬には終了する見込み。長野は上旬から入荷し、中信から北佐久にかけての地域が中心で、生育に遅れが見られる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。						
きゅう	17年	2,453	134	118	160	125	愛知 25%	
	18年	2,316	221	166	233	276	埼玉 22%	
	19年	2,316	221	166	233	276	宮崎 14%	
	20年	2,407	186	181	237	157	高知 13%	
	21年	2,235	172	178	165	173		
	5カ年平均	2,345	186	161	206	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	22年見通し	2,300	180	170	190	180		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t			単価 円/Kg
		産地は愛知中心、他に埼玉、宮崎。産地は西南暖地から北関東産に移行し、愛知も終盤を迎える。3月の低温と降雨で上旬まで不安定な出荷が続くが、中下旬には安定する見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ねぎ	17年	4,318	235	251	230	227	茨城 36%	
	18年	4,339	273	283	265	273	千葉 32%	
	19年	4,461	254	273	224	262	埼玉 15%	
	20年	4,373	380	382	438	334	群馬 5%	
	21年	4,029	330	303	320	362	(愛知産比率 -%)	
	5ヵ年平均	4,304	294	298	295	291	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	22年見通し	4,200	320	330	310	300		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		茨城、千葉などの関東産地からの入荷が中心。関東産地は、天候不順、日照不足、低温の影響もあったが5月上旬には回復し、平年並の作柄となる。生育は茨城の夏ねぎの遅れがあり、春ねぎとの間に谷間ができる見通し。入荷量は前年やや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。						
し タ ス	17年	7,622	118	138	116	103	長野 39%	
	18年	7,984	150	176	120	159	茨城 35%	
	19年	7,054	202	266	177	164	群馬 15%	
	20年	8,339	104	97	110	107	兵庫 5%	
	21年	7,857	139	159	149	115	(愛知産比率 -%)	
	5ヵ年平均	7,771	141	164	133	129	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	22年見通し	7,400	150	160	150	140		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		茨城などの関東産地に加えて長野からの入荷が始まる。関東産地、長野とも天候不順、日照不足、低温の影響で7日から10日の遅れ。降雪の影響はほとんど無いが、回復は中旬以降となる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						
き ゆ う り	17年	8,689	141	128	182	121	埼玉 31%	
	18年	8,224	227	183	240	266	群馬 19%	
	19年	8,701	207	220	207	195	茨城 13%	
	20年	8,368	200	195	276	155	千葉 13%	
	21年	8,776	181	185	180	178	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	8,552	191	182	216	182	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	22年見通し	8,300	200	210	200	190		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		関東産地からの入荷が中心となる。埼玉は天候不順、日照不足からやや生育不良。群馬は低温の影響から収量がやや少ない現状である。千葉も同様にやや少ない状況である。各産地とも回復は中旬以降となる。入荷量はやや前年を下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	17年	1,553	231	233	211	245	愛知 47%
	18年	1,292	275	285	230	316	熊本 40%
	19年	1,471	255	289	248	229	宮崎 7%
	20年	1,389	279	275	281	280	高知 4%
	21年	1,352	244	258	241	236	
	5ヵ年平均	1,411	256	267	242	260	
22年見通し	1,400	260	260	260	260	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本を中心に、西南産地からも入荷。生育は順調で、出荷は最盛期を迎える。愛知の千両は半促成もの、熊本の長なすは2L、L中心の出荷。気温上昇とともに荷動きは良くなる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
産地は愛知、熊本を中心に、西南産地からも入荷。生育は順調で、出荷は最盛期を迎える。愛知の千両は半促成もの、熊本の長なすは2L、L中心の出荷。気温上昇とともに荷動きは良くなる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
ト マ ト	17年	1,797	258	306	252	228	愛知 35%
	18年	1,858	254	326	193	259	熊本 34%
	19年	2,090	222	262	199	207	三重 16%
	20年	1,849	235	250	237	218	岐阜 10%
	21年	1,678	294	329	315	249	
	5ヵ年平均	1,854	251	293	237	231	
22年見通し	1,700	290	320	300	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は前月に引き続き愛知、熊本、三重中心。半促成ものも日照不足から生育は遅れ気味で、出荷は上旬ごろから本格化し、中下旬から大玉のものも出る見込み。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年並みとなる見込み。</p>					
産地は前月に引き続き愛知、熊本、三重中心。半促成ものも日照不足から生育は遅れ気味で、出荷は上旬ごろから本格化し、中下旬から大玉のものも出る見込み。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年並みとなる見込み。							
ミ ニ ト マ ト	17年	401	453	496	431	437	熊本 48%
	18年	395	479	545	433	457	愛知 42%
	19年	431	467	503	466	434	和歌山 8%
	20年	443	454	463	436	459	
	21年	368	586	604	639	535	
	5ヵ年平均	408	485	519	477	463	
22年見通し	380	550	600	550	500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、熊本中心で、他に和歌山。低温と日照不足で生育が遅れており、中下旬に最盛期を迎え、熟した果実が出る見込み。月平均の入荷量は平年を下回る。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
産地は愛知、熊本中心で、他に和歌山。低温と日照不足で生育が遅れており、中下旬に最盛期を迎え、熟した果実が出る見込み。月平均の入荷量は平年を下回る。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							



単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	17年	5,480	255	257	261	249	高知 54%
	18年	4,819	307	308	272	347	群馬 16%
	19年	5,234	275	308	266	254	栃木 6%
	20年	4,581	335	337	358	319	埼玉 5%
	21年	4,784	281	315	271	266	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,980	289	303	284	285	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	4,500	320	320	320	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知を始めとする西南暖地中心の入荷となる。高知、福岡ともに天候不順、日照不足影響で樹勢が弱っている。今後、5月中旬以降に回復し出荷も増えてくる。 入荷量は前年よりやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ト マ ト	17年	9,357	267	299	279	234	栃木 18%
	18年	9,411	282	337	234	280	熊本 17%
	19年	10,056	251	290	212	249	茨城 13%
	20年	9,149	270	284	287	246	千葉 11%
	21年	9,022	328	373	354	277	(愛知産比率 11%)
	5ヵ年平均	9,399	279	316	272	257	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	9,200	320	330	310	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地と熊本からの入荷が中心となる。各県産地とも天候不順、日照不足の影響で生育が遅れ、小玉傾向にある。5月中旬には、生育もやや回復するも大幅な増量は見込めない。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格はわずかに前年を上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	17年	1,318	415	446	416	388	熊本 28%
	18年	1,376	449	491	403	452	愛知 26%
	19年	1,501	434	498	415	392	千葉 14%
	20年	1,505	428	424	423	435	宮崎 11%
	21年	1,327	545	556	603	494	(愛知産比率 26%)
	5ヵ年平均	1,405	453	482	450	431	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,400	470	490	470	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を始めとする西南暖地中心の入荷となる。各県産地とも天候不順、日照不足による草勢低下で着果は小玉傾向、出荷量もやや少ない。5月中旬以降に徐々に入荷量が安定する見込み。 全体の入荷量は前年やや増加、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	951	218	245	213	202	宮崎 45%
	18年	886	281	346	247	265	鹿児島 23%
	19年	891	253	332	259	195	茨城 17%
	20年	818	296	366	289	254	
	21年	819	251	333	215	217	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	873	259	322	244	226	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	820	250	330	210	210	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は前月に引き続き、西南暖地中心で、茨城からかなりの量が出てくる。全体的に減少傾向で、作型の末期だが品質は保持されており、価格も安定する見込み。 入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。					
ばれいしょ	17年	3,831	164	232	157	129	長崎 60%
	18年	4,956	126	140	125	118	北海道 20%
	19年	4,349	115	141	119	92	鹿児島 16%
	20年	4,374	120	112	121	129	
	21年	4,399	128	143	139	113	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	4,382	130	151	131	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	4,100	150	180	150	130	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長崎、鹿児島と北海道の残量。鹿児島は終盤で上旬で終了し、長崎が最盛期を迎える。熊本はメークイン主体。春ものは霜害が発生しており、生育は10日から15日程度遅れている。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					
たまねぎ	17年	6,204	69	77	71	61	愛知 57%
	18年	6,011	72	75	71	69	北海道 32%
	19年	5,827	47	55	44	41	兵庫 8%
	20年	6,502	55	57	54	55	佐賀 2%
	21年	5,828	73	68	76	76	
ね	5カ年平均	6,074	63	66	63	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	5,500	76	80	80	70	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、兵庫の新玉ねぎと北海道の貯蔵もの。北海道の残量は少なく、上旬で終了。愛知は春先の天候量から生育は遅れぎみで、小玉傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	17年	2,661	228	244	234	200	茨城 79%
	18年	2,680	339	365	301	354	高知 8%
	19年	2,803	296	368	246	268	宮崎 8%
	20年	2,463	352	387	383	303	鹿児島 4%
	21年	2,681	291	338	301	247	(愛知産比率 -%)
マ	5カ年平均	2,658	300	340	291	274	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	2,500	300	330	290	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となる。茨城の生育は天候不順や日照不足からやや遅れている。高知も同様であり、回復にはしばらく時間が掛かる。 全体の入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る。</p>					
ばれいしょ	17年	9,563	166	209	166	138	長崎 59%
	18年	10,917	128	133	120	132	鹿児島 16%
	19年	10,608	116	128	121	101	北海道 15%
	20年	10,697	121	118	117	127	静岡 4%
	21年	9,902	142	137	140	150	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	10,337	134	144	132	129	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	10,000	140	145	140	135	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>九州産地からの入荷が中心となる。長崎は天候不順、日照不足の影響で1週間程度の遅れている。鹿児島の生育も同様の傾向にある。5月中旬以降は玉肥大も進み出荷量も増加する見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
たまねぎ	17年	13,725	86	95	88	76	佐賀 58%
	18年	15,212	84	90	84	80	兵庫 12%
	19年	15,768	53	56	55	49	千葉 7%
	20年	15,162	72	70	70	76	北海道 6%
	21年	12,412	99	97	97	102	(愛知産比率 2%)
ね	5カ年平均	14,456	78	81	78	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	13,000	95	100	95	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>佐賀からの入荷が中心となる。佐賀は作付けが前年より増えているが、天候不順や低温の影響で小玉傾向にある。兵庫は作付けは、昨年並み、生育は順調で出荷は5月中旬から始まる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	17年	16,110	284	303	284	267	熊本 29%
	18年	11,996	319	331	312	313	フィリピン 23%
	19年	11,868	338	351	337	327	青森 11%
	20年	11,202	320	317	310	331	アメリカ(合) 9%
	21年	10,647	312	323	305	310	
	5カ年平均	12,365	313	-	-	-	
	22年見通し	10,100	310	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか、メロン類中心の入荷で、いちごは終了に向かう。りんごは輸出好調で高単価。ハウスものは重油高騰による加温控えのため、遅れ気味で入荷は少ない。景気低迷を反映して厳しい販売環境が続く。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
アンデスメロン	17年	282	422	576	417	350	愛知 66%
	18年	247	442	507	442	392	熊本 19%
	19年	311	377	373	368	392	鹿児島 5%
	20年	231	427	439	436	409	三重 5%
	21年	193	411	497	474	319	
	5カ年平均	253	414	475	422	375	
	22年見通し	180	400	480	420	370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本中心で、今月から茨城が出てくる。熊本は作付を増やしている。重油高による加温控えと、低温・降雨により小玉傾向でL玉中心。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
すいか	17年	2,405	206	263	205	169	熊本 100%
	18年	2,232	208	218	208	199	
	19年	2,031	207	216	218	192	
	20年	2,096	206	217	208	193	
	21年	1,950	212	225	217	195	
	5カ年平均	2,143	208	229	211	189	
	22年見通し	1,900	200	210	200	190	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本中心で、他に地元愛知。熊本の作付面積は前年に比べてやや減、愛知は台風18号の被害で、ハウスの作付面積が減っている。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	17年	35,128	353	387	344	334	熊本 22%
	18年	34,747	346	372	336	335	青森 15%
	19年	31,355	386	409	377	374	フィリピン 15%
	20年	32,321	355	357	352	356	茨城 13%
	21年	33,700	329	353	331	308	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	33,450	353	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	33,000	330	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>すいか、メロン、りんご中心におうとう、みかんなどハウスものが入荷する。ハウスみかんは概ね順調な生育、すいか、露地メロンは天候不順で生育遅れ、小玉傾向である。 全体の入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
アンスメロン	17年	1,593	443	306	544	743	茨城 79%
	18年	1,272	439	527	454	400	熊本 21%
	19年	1,655	409	396	397	425	
	20年	1,154	437	434	449	432	
	21年	1,202	377	478	482	304	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	1,375	422	420	465	474	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	1,120	450	520	470	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主力産地が熊本から茨城に移行する。茨城は作付面積による入荷減少が予想される中、春先の天候不順により生育は遅れ、全体に小玉傾向。特に中旬まではL玉中心、下旬以降は2L中心となる予想。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
すいか	17年	6,046	234	306	234	193	熊本 67%
	18年	6,415	227	248	222	216	茨城 14%
	19年	6,841	230	243	235	217	千葉 13%
	20年	6,571	227	239	231	216	群馬 5%
	21年	7,086	224	253	234	198	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	6,592	228	257	231	208	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	22年見通し	6,100	220	230	220	210	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本中心に千葉、茨城から入荷する。熊本は生育がやや遅れぎみであるが入荷量は前年並みの予想。千葉のハウスものは生育遅れで小玉傾向。茨城、群馬の小玉すいかも着果が悪く、小玉傾向。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

# 切花・鉢花の5月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 4月23日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	18年	2,760	39	
		19年	2,727	39	
		20年	2,685	43	
		21年	3,444	27	
	4ヶ年平均		2,904	36	
22年見通し		2,600	35		
概要		愛知中心の入荷。4月に入ってからの低温と天候不順により、生育は全体的に遅れているため、前月に引き続き不安定な入荷が続く。作付面積が減っていることから、今月を通して少なめの入荷量が予想される。			
小 ぎ	実 績	18年	1,217	28	
		19年	1,457	20	
		20年	1,413	23	
		21年	1,195	24	
	4ヶ年平均		1,321	24	
22年見通し		1,200	25		
概要		地元愛知、沖縄、奈良から入荷。沖縄産は中旬以降減少し、産地は愛知近郊、奈良に移行する。奈良は短いものが中心となる。4月の低温、天候不順から生育は遅れ気味で、不安定な入荷が続く。			
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	18年	2,197	48	
		19年	1,998	47	
		20年	1,970	42	
		21年	1,819	42	
	4ヶ年平均		1,996	45	
22年見通し		1,700	42		
概要		愛知、長野、和歌山を中心に入荷。4月の冷え込みの影響から全体的に生育は遅れており、「母の日」前に入荷は少なく、引き合いは強い。母の日以降は遅れていた分が出そろい、苦しい相場展開が予想される。			
か す み 草	実 績	18年	409	46	
		19年	336	57	
		20年	336	56	
		21年	271	62	
	4ヶ年平均		338	54	
22年見通し		350	60		
概要		高知、和歌山、熊本等を中心に、後半は高地からも入荷が始まる。母の日需要で前半は引き合いが強い。後半は業務需要が期待される。気温の上昇とともに、品質による価格差の発生が予想される。			

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	18年	492	165	
		19年	454	149	
		20年	483	135	
		21年	383	156	
		4ヶ年平均	453	151	
	22年見通し	450	160		
概要	高知、埼玉、岐阜、愛知、新潟等、暖地から高冷地にかけて多産地から入荷。3月から4月にかけての低温の影響で出荷が遅れており、母の日以降の入荷が出るのが心配される。等にLA系、すかしゆり等は母の日以降に出荷が集中すると販売環境が苦しくなる。				
洋らん	実績	18年	378	96	
		19年	328	88	
		20年	414	76	
		21年	302	88	
		4ヶ年平均	356	87	
	22年見通し	302	88		
概要	愛知、徳島、宮崎のほか輸入ものも入荷。前月はカトレアとコショウランの季咲き分入荷が需要を上回り低調だったが、今月はオンシジウム、シンピジウムが減少、国産の入荷量も落ち着く。母の日需要もあり、市場は堅調に推移する見込み。				
ばら	実績	18年	1,286	74	
		19年	1,092	69	
		20年	1,129	67	
		21年	1,150	67	
		4ヶ年平均	1,164	69	
	22年見通し	1,040	67		
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山と輸入ものが入荷。前月前半の集中集荷以降の前進傾向に加え、一部の品種で改植があったため、品種によっては少なくなる見込み。価格は、前半母の日需要で堅調な動きも、後半はプライダル需要のみとなり、苦しい取引展開となる。				
枝も	実績	18年	1,600	39	
		19年	1,366	42	
		20年	1,321	43	
		21年	1,269	43	
		4ヶ年平均	1,389	42	
	22年見通し	1,269	43		
概要	静岡、愛知、岐阜を中心に入荷。愛知の栽培ものが出荷が始まり、品数も増える。端午の節句用のしょうぶは、春先の冷え込みから生育が遅れている。価格は前半動きも良く堅調だが、後半は動きが鈍くなる見込み。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	17年	46,234	683	
		18年	60,952	624	
		19年	36,723	748	
		20年	47,060	647	
		21年	44,063	533	
	5ヶ年平均		47,006	642	
	22年見通し		40,000	500	
概要	<p>入荷量は減少か。母の日需要が中心で、発色の良いものに人気が集中か。母の日明けは需要が激減し、厳しい動きとなりそう。                      昨年5月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位長野(38%)、2位新潟(21%)、3位愛知(20%)となっている。</p>				
ファレノ	実績	17年	61,627	2,336	
		18年	81,660	2,189	
		19年	61,149	2,507	
		20年	64,381	2,266	
		21年	52,823	2,145	
	5ヶ年平均		64,328	2,286	
	22年見通し		50,000	2,000	
概要	<p>母の日需要衰退で、この時期の生産を避ける傾向があり、入荷量は減少か。大輪系の母の日需要離れが響く。小・中輪は、こ綺麗で手頃な価格のものに人気集中か。                      昨年5月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(59%)、2位静岡(8%)、3位福岡(8%)となっている。</p>				
ミニ	実績	17年	118,996	274	
		18年	137,089	292	
		19年	93,180	369	
		20年	119,144	378	
		21年	83,350	397	
	5ヶ年平均		110,352	336	
	22年見通し		85,000	370	
概要	<p>入荷量は微増か。母の日需要が中心で、3.5号から5号鉢までの中輪に人気集中か。母の日明けは需要が激減し、厳しい動きとなりそう。                      昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(56%)、2位岐阜(22%)、3位その他(5%)となっている。</p>				



単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドロランジア	実績	17年	97,251	581	
		18年	91,436	702	
		19年	113,369	731	
		20年	144,634	765	
		21年	190,684	700	
	5ヶ年平均	127,475	702		
	22年見通し	190,000	700		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。今シーズンは、母の日が早い為、短期間に入荷が集中か。定番はピンク系だが、ブルー、複色系などの新品種も多く、バラエティに富む。5号鉢以下の手頃な価格で購入できるものに人気集中し、大鉢は昨年以上に厳しい動きとなりそう。母の日明けは需要が激減。昨年5月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(67%)、2位群馬(10%)、3位埼玉(8%)となっている。</p>				
スパティフィラム	実績	17年	45,808	304	
		18年	52,604	347	
		19年	43,811	334	
		20年	49,838	280	
		21年	38,033	243	
	5ヶ年平均	46,019	304		
	22年見通し	38,000	230		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。母の日需要が中心で、POT物から6号鉢までは入荷増だが、7号以上が入荷減か。母の日明けは需要が激減し、厳しい動きとなりそう。昨年5月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位三重(56%)、2位愛知(32%)、3位岐阜(7%)となっている。</p>				
カーネーション	実績	17年	343,735	427	
		18年	444,444	412	
		19年	424,904	460	
		20年	433,670	472	
		21年	366,430	466	
	5ヶ年平均	402,637	447		
	22年見通し	360,000	450		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。今シーズンは、母の日が早い為、短期間に入荷が集中か。定番の赤、ピンクをはじめ、ムラサキ、複色、オレンジ系などの新品種も多く、バラエティに富むので、全体の底上げを期待したい。母の日明けは需要が激減し、厳しい動きとなりそう。昨年5月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(31%)、2位茨城(25%)、3位福島(13%)となっている。</p>				

# 主要農林水産物の輸出入実績(2010年)

## 1 輸入実績

品名	2月						2月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	65,959	133.8	6,621,345	138.2	100	103.3	115,436	126	11,684,779	134	101	97.2
トマト	415	398.6	148,351	520.8	358	130.7	670	332	238,158	427	356	130.7
たまねぎ	28,145	207.3	1,385,413	263.3	49	127.0	51,800	194	2,419,125	238	47	123.1
にんにく	1,291	95.2	188,853	210.4	146	221.1	3,069	96	456,388	188	149	142.4
ねぎ	3,636	149.9	307,695	165.9	85	110.7	6,469	142	574,175	159	89	88.2
ブロッコリー	2,623	122.8	390,901	113.7	149	92.6	4,318	135	687,578	127	159	97.9
結球キャベツ	1,466	60.3	50,879	66.1	35	109.7	1,820	39	64,925	45	36	99.1
にんじん・かぶ	1,161	52.2	54,717	52.1	47	99.9	2,070	54	89,479	54	43	85.4
ごぼう	2,292	99.5	124,550	162.0	54	162.8	5,169	94	265,681	146	51	117.7
えんどう	381	299.7	92,194	395.3	242	131.9	585	294	145,007	370	248	111.3
アスパラガス	1,932	109.3	860,274	104.2	445	95.3	3,035	118	1,511,324	114	498	89.7
まつたけ	-	-	-	-	-	-	-	0	-	0	-	-
しいたけ	828	109.6	203,974	127.2	246	116.1	1,615	123	399,038	141	247	105.4
かぼちゃ	16,847	105.6	1,064,629	113.1	63	107.1	25,944	93	1,667,683	99	64	105.9
果実(生鮮・乾燥)	136,263	88.3	13,624,166	95.3	100	107.9	253,335	86	25,189,480	91	99	89.1
バナナ	80,432	78.1	4,948,429	71.0	62	90.9	153,563	78	9,089,358	69	59	80.4
パイナップル	6,965	89.9	409,111	90.1	59	100.2	15,832	93	905,732	91	57	91.2
レモン	4,205	91.8	559,030	107.2	133	116.7	7,886	94	1,023,818	105	130	112.2
オレンジ	8,396	118.3	775,558	109.1	92	92.2	13,283	94	1,252,360	87	94	96.8
グレープフルーツ	19,707	102.4	2,090,205	113.6	106	110.9	31,016	98	3,330,585	109	107	121.4
メロン	2,364	165.9	272,952	124.4	115	75.0	5,256	148	570,017	124	108	103.0
ぶどう	1,277	128.4	227,947	137.3	178	106.9	1,453	108	275,095	115	189	102.3
キウイ	-	-	-	-	-	-	0	1	275	3	818	243.7
いちご	7	57.4	4,085	70.7	606	123.1	15	74	9,658	83	663	74.5
切花(生鮮・乾燥)	2,617	100.0	1,828,456	97.3	699	97.3	5,525	112	3,856,835	106	698	95.0
鳥獣肉類	121,653	95.1	49,440,964	89.7	406	94.4	241,910	91	99,676,130	86	412	96.8
牛肉(くず肉含む)	33,143	85.2	12,829,478	92.7	387	108.8	61,801	82	24,459,083	90	396	102.3
豚肉(くず肉含む)	52,067	91.5	27,267,181	91.6	524	100.1	108,596	92	56,849,482	92	523	99.9
鶏肉	31,843	122.3	6,583,467	79.6	207	65.1	61,254	107	12,351,317	66	202	86.6
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	127,065	115.5	59,831,985	93.4	471	80.9	266,003	99	124,976,550	89	470	90.1
まぐろ類	14,529	83.8	10,514,927	49.9	724	59.6	29,407	88	20,157,478	60	685	79.3
さば・さんま・あじ・いわし	6,369	94.3	1,023,828	98.5	161	104.5	22,238	65	3,546,587	55	159	92.5

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	2,263	126.6	656,870	158.8	290	125.4	11,781	212	3,376,516	240	287	97.2
うんしゅうみかん	54	221.9	16,467	163.6	305	73.7	197	224	74,261	145	376	280.3
りんご	2,138	123.7	551,055	156.6	258	126.7	11,372	213	3,105,741	259	273	105.5
なし	5	185.6	2,321	145.2	451	78.3	42	352	17,578	282	421	104.4
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	167,189	83.1	-	-	-	-	364,977	94	-	-
緑茶	152	103.7	275,084	112.3	1,811	108.3	323	121	593,660	129	1,837	105.1

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

# 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 <small>（全国 平成17年 = 100）</small> <small>愛知県 平成17年 = 100</small>				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	20年平均	101.7	104.7	102.4	106.9	105.5
	21年10月	100.0	98.5	98.2	104.5	103.1
	11月	99.8	94.5	91.9	104.7	102.1
	12月	99.6	95.7	90.6	104.3	102.6
	22年 1月	99.4	107.8	95.0	104.4	103.1
	2月	99.3	107.1	91.8	104.1	101.6
愛 知 県	20年平均	101.7	100.9	101.6	104.8	104.0
	21年10月	100.5	100.7	97.4	101.5	105.4
	11月	100.2	95.9	93.2	103.7	101.3
	12月	100.0	95.0	96.0	102.6	102.0
	22年 1月	99.3	96.8	94.7	102.4	99.4
	2月	99.2	97.4	90.1	104.7	97.5

項目 年月		農業物価指数（平成17年 = 100）				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	20年平均	97.7	94.7	104.8	100.8	101.6
	21年10月	90.7	96.4	81.1	89.4	98.8
	11月	90.6	97.1	82.3	91.1	97.2
	12月	92.9	97.5	93.5	83.8	98.9
	22年 1月	96.7	97.0	110.5	76.2	96.4
	2月	98.3	97.0	113.6	85.4	97.9

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格（円）													
品目 単位 年月	うるち米 <small>（単一品種、「コシカ」以外）</small>	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご（ふじ）
	5 kg	1 kg										100g	1kg
20年平均	2,212	150	170	637	420	272	143	331	191	558	605	208	494
21年10月	2,232	131	154	700	295	320	128	343	205	460	623	212	-
11月	2,232	111	125	660	331	294	109	316	202	531	570	209	459
12月	2,240	102	106	563	434	305	109	268	217	608	606	209	425
22年 1月	1,995	131	121	641	501	286	130	249	232	579	561	208	367
2月	1,995	173	124	567	483	315	148	273	254	562	600	187	369
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶（せん茶）	カーネーション	きく	バラ	豚肉（ロース）	牛肉（ロース）	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
20年平均	553	346	408	150	261	669	614	163	172	328	230	824	492
21年10月	530	298	404	-	248	702	588	162	166	323	216	744	484
11月	457	310	398	-	247	738	588	159	166	329	232	752	487
12月	453	303	405	173	246	676	609	162	171	349	221	754	479
22年 1月	491	304	393	145	232	695	565	148	168	299	236	788	472
2月	484	291	373	137	245	636	546	149	156	301	216	815	444

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 443  
平成22年5月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6417